

災害にそなえる

チェックしよう！持ち物と約束

非常持ち出し品

ひ難の時に持ち出す「非常持ち出し品」を確認し、家族でチェックしましょう。

食べ物・飲み物



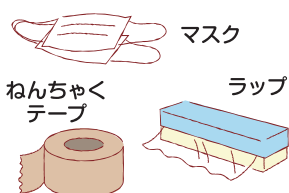
飲み水 ※3日分
かんづめ
缶詰
かんパン

衣類・タオル



雨具
タオル
下着のかえ

あと便利なもの



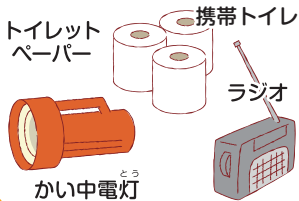
マスク
ねんちゃくテープ
ラップ

安全のためのもの



ガーゼ
防災頭かん
ばんそうこう
薬など

ふだん使うもの



携帯トイレ
トイレトイレットペーパー
ラジオ
かい中電灯

そのほか、必要なものがあったら書こう。

家族で防災会議

災害が起きた時のために、家族で話し合っておきましょう。いざという時の「自分の役割」「避難場所」「連絡方法」を、ふだんから、しっかり確認しておくことが大切です。

！自分の役割

！家族がはなればなれになった時の連絡方法

！非常持ち出し品の置き場所

！家の近所の避難場所

！自分の家がどのような場所にあるか確認して、災害が起こった時にどこに避難するかを確認しておきましょう。

ぼう
防

さい
災

ノ

ー

ト

小学3～6年生用



小学校

年 組 番

年 組 番



防災ノートとは

この「防災ノート」は、大雨や台風、地震・つ波、火山ばく発などの災害が起きた時に、安全な行動がとれるように学習するためのノートです。

小学3～6年生の皆さんが、災害から身を守るために、「災害で起きること」を絵と写真で学べるようになっていきます。また、災害時に気をつけることをクイズ形式でまとめました。答えてみましょう。

後ろのページには、けがをした時の「応急手当」、災害に備えて用意しておく「非常持ち出し品」も書いてあります。確かめておきましょう。

この防災ノートは、リュックやかばんに入れて、いつでも使えるようにしておきましょう。

災害時は、その場の状況におうじて、判断し行動することが大切です。この防災ノートには、その行動の例をしめしてありますので、災害時の参考にしましょう。



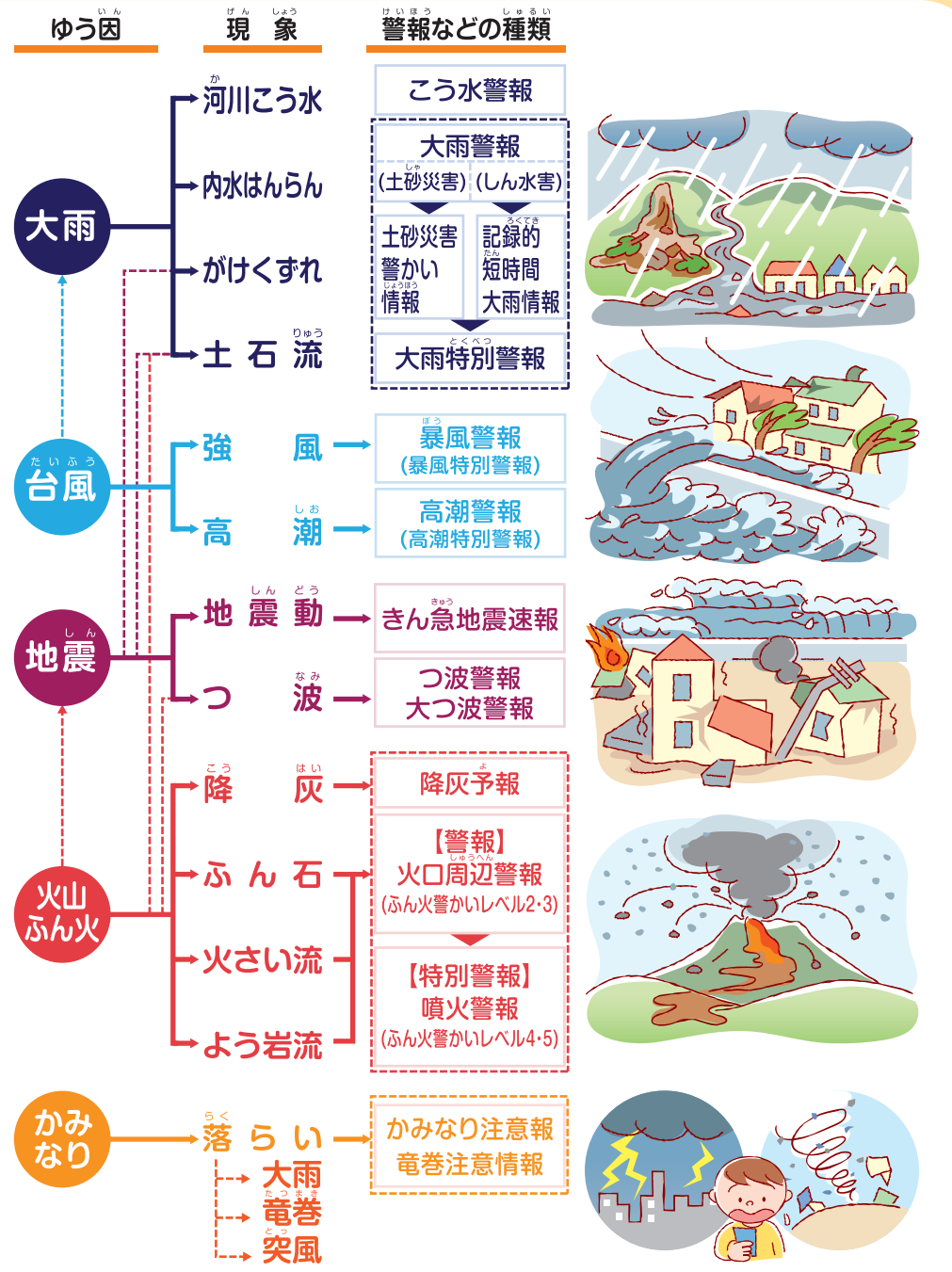
保護者の皆様へ

本市では、防災教育の更なる充実を図るため、2013年に独自の「防災ノート」を作成したところですが、近年、全国で発生している台風や豪雨による風水害、今後予想される桜島の大噴火等を鑑み、防災に関する専門家等の協力を得ながら、見直しを行いました。

この「防災ノート」は、子供が主体的に「災害に関する基礎知識」を学ぶとともに、周りの状況に応じて自らの命を守り抜くことができるよう、自分で考え書き込む形式にし、登下校時にも携帯できるサイズにしてあります。各ページには、関連する二次元コードを示しておりますので、合わせてご確認ください。

また、後半には、家族で話し合うページも設けました。本市が過去に体験した数々の災害の教訓を踏まえながら、ぜひ「家族防災会議」を開き、家族ぐるみの災害対策にも活用していただきたいと思います。

令和5年3月 鹿児島市教育委員会





大雨・台風のことを学ぼう



！大雨・台風になったら…

どんなことが起きるか、考えてみましょう。



！大雨・台風の時に気をつけること

次の文章が正しい時は(○)、正しくない時は(x)をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- 大雨の時、地下街などに避難する ()
- 雨や風がおさまったらすぐに、がけに近づいてもよい ()
- 家族と連らくを取り、みんなのいる場所を知っておく ()
- 天気予報で、今後の台風の予想進路を知っておく ()
- 川や水路があふれないか見に行く ()



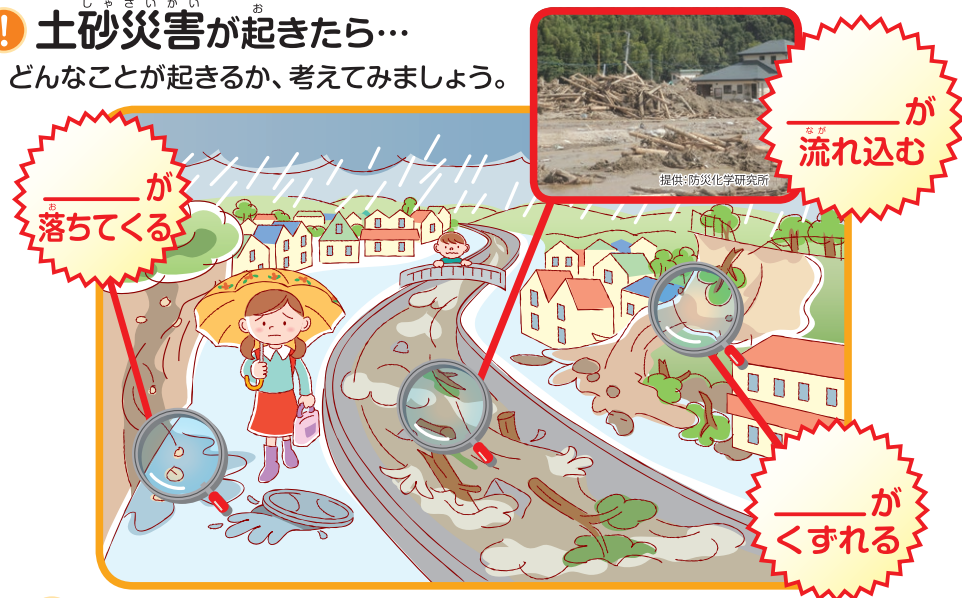
8・6水害を調べよう



平成5(1993)年8月6日、鹿児島県に大雨が降り、土砂くずれや川のはんらんがあちこちで発生しました。多くの人々が、命をうばわれたり、けがをしたりしました。また、建物や道路にも大きな被害が出ました。甲突川にかかっていた五石橋の内、残った3つの橋は石橋記念公園に移して、保存されています。

！土砂災害が起きたら…

どんなことが起きるか、考えてみましょう。



！ 次の文章が正しい時は(○)、正しくない時は(x)をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- 防災マップで、危険な場所を調べておくといよい ()
- 雨が降り続いたが、川の水位が下がったから大じょう夫だ ()
- 崖からパラパラ石が落ちてきたが、小石なのでまだ安心だ ()
- 降り始めからの総雨量が100mmを超えているので、予報を聞く ()
- 土石流に直面した時は、土砂の流れる方向に対して直角に逃げる ()

時間の雨量と予想されるえいきょう (イメージ)

1時間の雨量	予想されるえいきょう
8~15ミリ	雨の降る音が聞こえる。
15~20ミリ	地面一面水たまり。雨音で話し声がよく聞こえない。
20~30ミリ	どしゃ降り。側溝がたちまちあふれる。
30~50ミリ	バケツをひっくり返したよう。場合により、避難の準備を始める。
50ミリ以上	滝のように降る。土石流がおこりやすい。

(参考) 風速とひ害

風速10m/s	かさがかさせない
風速15m/s	かん板やトタン板が飛びはじめる
風速20m/s	小枝が折れる
風速25m/s	瓦が飛び、テレビアンテナがたおれる
風速30m/s	雨戸がはすれ、家がたおれることもある

メモ

家族で大雨・台風について話し合って気をつけることを書きましょう。



「ひ難の判断と行動」については、地震・つ波や火山ばく発の災害でも参考にしましょう。

ひ難の判断

災害がせまったとき、それぞれがみずからはんだんし、てき切な行動をとらなければなりません。

例えば

- 土砂災害や河川はんらんのある地域に住んでいる
- 家族にお年寄りなど、ようはいりよしゃがいる

とにかく早めのひ難を

命を守る行動を

危険な状況のなかでのひ難はできるだけさけ、安全を第一に考えます。危険がせまっている場合は、指定されたひ難所への移動(①水平ひ難)だけでなく、命を守る行動が必要な場合もあります。

例えば

- 危険な場所がわかりにくい
- ひざ上まで浸水している
- 水の流れる速度が速い
- 垂直ひ難：屋外への移動は危険です。建物が安全な場合は、自宅などの建物の2階以上へひ難し、救助を待つことも考えてください。



！ 次の文章が正しい時は(○)、正しくない時は(×)をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- 家族にお年寄りがいるので早めにひ難する()
- ひざ上までしん水しているので、安全な家の2階に待機する()
- 堤防が壊れそうだが、ひ難指示が出るまでまつ()
- 夜でまわりが見えず危ないので、近くのビルの屋上にひ難する()

ひ難時のポイント

正しい情報を得て判断、行動する。



家族の状況を確認し、連らくがとれない時はメモを残す。



ブレーカーを落としガスの元せんを閉める。



せまい道・ほりぎわ・川べりをさける。



！ まずは自分の身を守りましょう

ゆれがおさまった後の行動は、どうすればよいでしょうか、考えておきましょう。

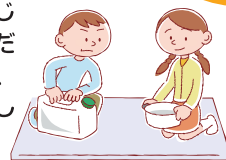
- ガラス片や転とう家具に注意しながら、火の始末や家族の安全確認をおこなう



- ひ難するための出口をかくほし、非常持ち出し品をけい行する
- ガスの元せんを閉め電気のブレーカーを落とす
- ラジオなどで情報を入手する



- 生活必じゆ品は自分の備ちくでまかなう(地震発生後の数日間は、水道・ガス・電気・電話等ライフラインをはじめ、食料の供給がとだえます。日ごろから、生活必じゆ品を用意しておきましょう。)



- 家おくとうかいなどのおそれがあれば、地震時の退ひ場所や広場等にひ難する
- はなれた家族の安否を確認する(安否確認は災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板を利用しましょう)



！ 地震・つ波の時に気をつけること

次の文章が正しい時は(○)、正しくない時は(×)をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- 地震発生直後は、机の下などにひ難する()
- ゆれがおさまったら、火の始末をし、家族の安全確認をする()
- ひ難する時は、遠くまで行けるように、車で移動する()
- つ波は海のそばだけなので、川のそばにいても平気だ()
- つ波注意報だけなら、高い所へにげなくてもよい()



メモ

家族で地震・つ波について話し合って気をつけることを書きましょう。

火山ばく発の^{はつ}ことを学ぼう



！火山がばく発したら…

どんなことが起きるか、考えてみましょう。



が
起きる

が
起きる

が
飛んでくる

！火山ばく発の時に気をつけること

次の文章が正しい時は(○)、正しくない時は(×)をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- 火山防災マップで、危険な場所を調べておくとよい ()
- 火口から遠いので、行き当たりばったりでにげればよい ()
- 地震はよくあることなので、避難指示に従わなくてよい ()
- 地鳴りや草木の立ちがれがあるので、噴火予報を聞く ()
- 火山灰が口に入らないようにマスクをする ()

桜島大正噴火を調べよう



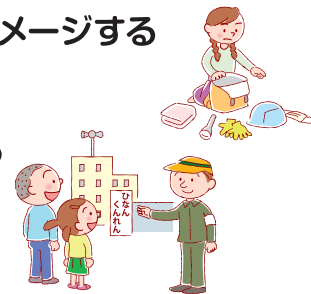
鹿児島島のシンボル桜島は、大正3(1914)年1月12日に大ばく発を起こしています。1162戸が壊れ、噴き出した溶岩でうめつくされました。黒神中学校横の鳥居(高さ3m、写真右)は、上の1m部分だけを残して埋まりました。



提供:鹿児島県立博物館

！火山ばく発がおこる前にやっておくべきこと

- 大量の軽石や火山灰による影響やひ害をイメージする
- 避難をしなければいけない場合に備える
- 気象情報や避難情報の収集方法を確保する
- 地域で防災活動を行う



桜島の自然とめぐみ

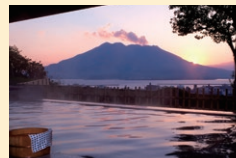
桜島は、まさに鹿児島島のしょうちょうのそんざいです。ながめる楽しさはもちろん、いざ桜島へと足をふみ入れれば、豊かな自然と桜島ならではののみ力がまんざいです。

温泉

地下水がマグマに温められ、桜島には多くの温泉があります。



茶褐色の湯が特ちょうの桜島マグマ温泉



市街地側の温泉

農産物

温暖な気候や火山灰土じょうをいかした農産物は、桜島内外へとけられています。



世界一の大きさをほこる桜島大根



直径3cmほどの桜島小みかん

地下資源

シラスや石材、地熱などの大地のめぐみは、いろいろなことに活用されています。



石がきや石橋などに利用される石材



市電のき道しきに使われるシラスブロック

引用:「鹿児島島の火山防災ガイドBOOK」発行:桜島大正噴火100周年事業実行委員会

メモ

家族で火山ばく発について話し合って気をつけることを書きましょう。



その他の災害のことを学ぼう

！かみなりが発生したら…

次の絵を見て、危ない行動を○で囲み、その理由を考えましょう。



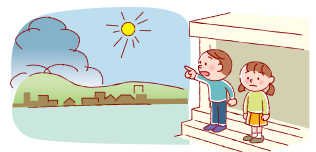
！ 次の文章が正しい時は(○)、正しくない時は(×)をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- 近くに避難する場所がなかったため、姿勢を低くした ()
- かみなりが鳴っていたが、周りに雨をよける場所がなかったためかささした ()
- かみなり注意報が出ていたが、友達と約束していたため海に出かけた ()

積乱雲に注意！



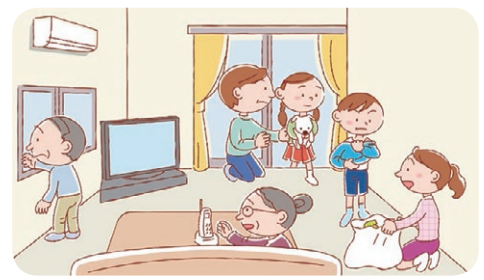
- 大気の状態が不安定で、らい雲(積乱雲)が発生している時は要注意。
- かみなりは雨が降る前に発生する。
- らい鳴が聞こえなくなっても安全な場所で待機する。
(落らいの危険はらい雲が消めつするまで続く)



！原子力発電所で、事故が起きたら…



原子力発電所で事故が起きたら、発電所から目には見えず、においもしない放射性物質がもれ出し、体に様々なえいきょうをあたえます。



守ること・大切なこと

情報を集める

- ニュースに注意する
- 防災放送をよく聞く

家の中に入る

- 窓やドアを全部閉める
- かん気せんを止める

外から帰ったら

- 手や顔を洗う
- 服をぬいでふくろに入れる

避難の指示にしたがう

- 戸じまりをしっかりとる
- マスクやぼうしをつける

！弾道ミサイルが発射されたら…



弾道ミサイルは、発射から10分もしないうちにとうたつする可能性もあります。日本に落下する可能性がある場合は、国からのきん急情報をしゅん時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、きん急速報メール等によりきん急情報をお知らせします。

Jアラートを調べよう



全国しゅん時けい報システム(Jアラート)は、弾道ミサイル情報、きん急地震速報、つ波けい報など、対処に時間的余ゆうのない事態にかんする情報を国から送信し、市町村防災行政無線などを自動起動することにより、国から住民まできん急情報をしゅん時に伝達するシステムです。

Jアラートメッセージ

(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。



地震やつ波などの災害は、いつ起きるか分かりません。自分を守るために、どんなことに気をつければよいでしょうか。

① 確かめる

- 1.先生（家の人）に注目する。
- 2.話をよく聞く。



約束

- ・していたことをすぐやめる。
- ・「何」を「どうするか」を考えながら聞いて行動する。

② 準備する

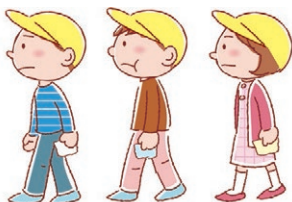
- 1.身を守る道具を持つ。（帽子・ハンカチ）



- ・落ち着いて準備する。
- ・必要ないものは持たない。

③ ひ難する

- 1.す早く並ぶ。
- 2.す早く移動する。



- ・す早く行動する。
「おさない」
「かけない」（走らない）
「しゃべらない」
「もどらない」
をしっかり守る。

3.ひ難場所で待つ。

※場合によっては、場所を移動することもあるので、まわりの様子に注意しておこう。



- ・まわりの様子にも注意する。

！ ひ難の時に気をつけること

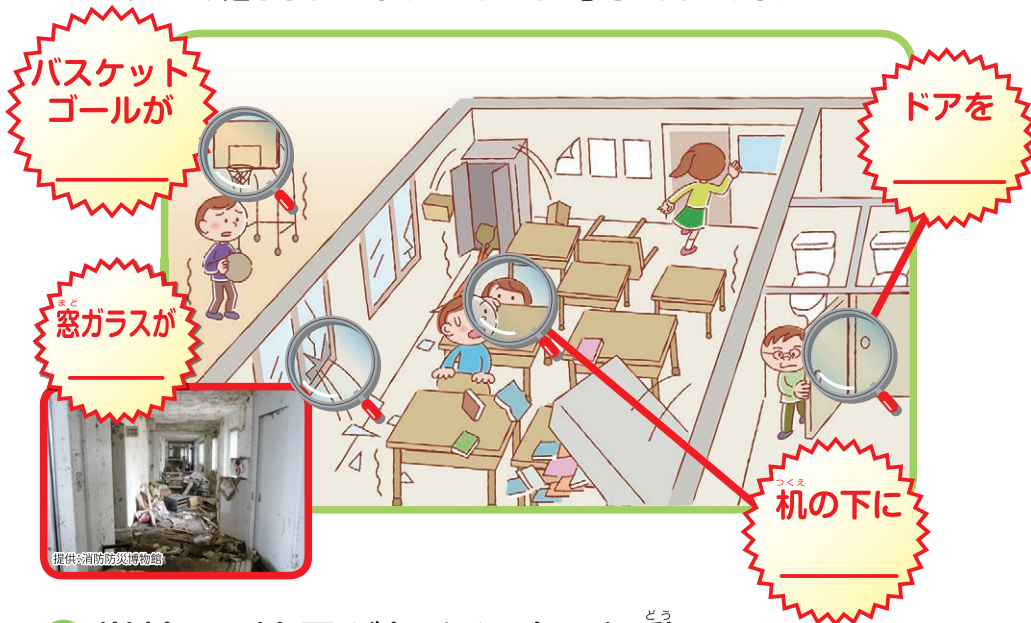
次の文章が正しい時は○、正しくない時は×をつけ、その理由を話し合ってみましょう。

- すぐににげなくてはいけないので、とにかく教室を飛び出した（ ）
- 先生や大人の話や話を聞かずに、小声でおしゃべりをしていた（ ）
- 家が無事か心配なのですぐに帰った（ ）
- 崩れるおそれがあったが、近道なのでがけの下を通った（ ）
- しん水のおそれがあったので、遠回りでも別の道を通った（ ）



！ 学校で、地震が起きたら…

どんなことが起きるか、どうしたらよいか、考えてみましょう。



！ 学校で、地震が起きた時の行動

地震が起きた時、どのような行動をとるべきか、具体的に書いてみましょう。

		最初にとる行動	次にとる行動
地震発生！	教室にいる時		ゆれがおさまったら
	校庭や体育館にいる時		



外で地震が起きたら

！ 登下校の時や、出かけている時に地震にあったら…
どんなことが起きるか、どうしたらよいか、考えてみましょう。



家で地震が起きたら

！ 家で、地震が起きたら…
どんなことが起きるか、どうしたらよいか、考えてみましょう。



！ 外で、地震が起きた時の行動
地震が起きた時、どのような行動をとるべきか、具体的に書いてみましょう。

		最初にとる行動	次にとる行動	
地震発生！	登下校の時		ゆれがおさまったら	
	遊びに出かけた時	海では…		
		山では…		

！ 家で、地震が起きた時の行動
地震が起きた時、どのような行動をとるべきか、具体的に書いてみましょう。

		最初にとる行動	次にとる行動
地震発生！	料理をしている時		ゆれがおさまったら
	起きる時		
	お風呂の時		



避難場所を調べよう



地域で起こりうる災害



危険な場所と、避難場所を調べよう

学校から家までの帰り道を書いたり、地図をはったりして、安全な場所には○、危険な場所には×をつけましょう。家族といっしょに、話し合いながら書いてみましょう。また、各災害時の避難場所への安全な道にも印をつけましょう。

どんな危険が近くにあるか、調べてみよう

自分たちの地域では、どんな災害が起きる可能性があるでしょうか？近くにある自然などから、想像してみましょう。

みんなの街は
どんなところかな？
海、火山、がけ
などがあるかな？



避難行動のイメージ

「鹿児島市防災ガイドマップ」や「かごしまiマップ」で自宅の安全を確認



●自宅が危険な場所にあるとき

●自宅が安全な場所にあるとき



見本

- 避難する場所
- × 危険な場所
- 通る道

